

公益社団法人日本ホッケー協会
平成30年度第6回理事会 議事録

I. 日 時 平成31年3月16日(土) 午後2時～5時15分

II. 場 所 岸記念体育会館5階会議室(504・505)
東京都渋谷区神南1-1-1

III. 出席者 (理事25名中19名出席、監事3名中1名出席)

(代表理事) 中曾根弘文

(理事) 内藤貴詞・中村康夫・寺本祐治・安西浩哉・瀧上正志
伊吹洋二・中村真理・今庄充世・馬場治男・渡辺健一
矢野茂樹・石川伸男・埴岡隆・大久保文義・平尾 豊
宮田 知・奥田竜子・井上雄介

(監事) 田中 誠

IV. 審議事項

- (1) 平成31年度事業計画および当初予算について
- (2) 名誉会長の件
- (3) 日本代表チームヘッドコーチ 扶養家族の学費一部補助、及び東京への移転関連費用負担について
- (4) JHA就業規則の制定について
- (5) JHA賃金規程の制定について
- (6) 国際交流事業部の設置について
- (7) 専任コーチについて
- (8) 平成31年度理事会・総会・業務執行理事会の開催予定について
- (9) 2019年度全国大会補助金について
- (10) JHA新スポンサー・サプライヤーの獲得について
- (11) JHAのビジョンの策定におけるタスク・フォースの設置について
- (12) 普及委員の選任について
- (13) 東京2020 テストイベントにおける夕食会の開催について
- (14) その他

V. 報告事項

- (1) AHF 総会

- (2) アンチ・ドーピング教育について
- (3) オランダ女子代表チームの受け入れについて
- (4) 2019年度第80回全日本女子ホッケー選手権大会主管について
- (5) 新ロゴマークの運用について
- (6) 日本スポーツフェアネス推進機構 (J-Fairness) の設立と負担金の支払いについて
- (7) U12 ドリームキャンプについて
- (8) FIH Series Final (Hockey Series Final から改称) の準備状況について
- (9) 2019年チャレンジマッチの準備状況について
- (10) Instagram 社との取り組みについて
- (11) 新会館の住所および事務局移転について
- (12) JOC 国際人養成講座への派遣について
- (13) 登録者数の推移について
- (14) その他

VI. 議事内容

1. 開会

- (1) 定刻、坂本事務局長が開会を宣言。
- (2) 坂本事務局長が理事 25 名の内 19 名出席、よって本理事会は定款第 39 条の規定に定める定足数を満たしており、成立した旨を告げた。
- (3) 定款第 38 条に基づき中曽根会長が議長に選出された。
- (4) 議長が議事録署名人に田中誠監事と石川伸男理事を、議事録作成人に織井隆司事務局員を指名した。

2. 「審議事項」議事経過及びその結果

- (1) 平成 31 年度事業計画および当初予算について
瀧上総務委員長が事業計画を配布資料に基づき説明した。
井上財務委員長が当初予算を配布資料に基づき説明した。

質疑応答の後、議長が採決し、提案は異議なく承認された。

(2) 名誉会長の件

中村専務理事から「元会長の吉田大士氏を名誉会長にご推薦いただきたくご審議をお願いしたい」と提案された。

質疑応答の後、議長が採決し、賛成多数で吉田大士元会長を名誉会長に推薦すること及び、名誉会長と顧問の任期は他の理事と同様とし、今回選任された場合の任期は2020年度の定時総会までとすることが承認された。

(3) 日本代表チームヘッドコーチの扶養家族の学費一部補助、及び東京への転居関連費用負担について

安西強化本部長から「さくらジャパンのアンソニー・ファリーヘッドコーチが東京への転居及び二人の子供の学費の補助を要望されているので配布資料の内容でご審議いただきたい」と提案された。

質疑応答の後、議長が採決し、提案は異議なく承認された

(4) JHA就業規則の制定について

(5) JHA賃金規程の制定について

瀧上総務委員長から「就業規則・賃金規程・退職金規程について2月23日(土)に開催された業務執行理事会後に各理事へ案文をメールし、意見を求めたが、意見はなかったので提案通りご承認いただきたい」と説明された。

質疑応答の後、議長が採決し、提案は異議なく承認された。

(6) 国際交流事業部の設置について

瀧上総務委員長から配布資料に基づき趣旨とメンバーと業務分担が説明された。

質疑応答の後、議長が採決し、提案は異議なく承認されたが内容はさらに詰めるよう要請された。

(7) 専任コーチについて

安西強化本部長から「2019年度のJOC専任コーチについて配布資料の名簿で推薦するので承認いただきたい」と提案された。

質疑応答の後、議長が採決し、提案は異議なく承認された。

(8) 平成 31 年度理事会・総会・業務執行理事会の開催日程について
坂本事務局長から配布資料に基づき説明された。4 月 20 日（土）の業務執行理事会の日程を再検討するよう要望があったがそれ以外の日程は承認された。

(9) 2019 年度全国大会補助金について
坂本事務局長から配布資料に基づき説明された。

質疑応答の後、議長が採決し、提案は異議なく承認された。

(10) JHA 新スポンサー・サプライヤーの獲得について
坂本事務局長から配布資料に基づき説明された。

質疑応答の後、議長が採決し、提案は異議なく承認された。

(11) JHA のビジョンの策定におけるタスク・フォースの設置について
内藤副会長から 6 月の総会で発表できるよう進めること及び、タスク・フォースの責任者を渡辺理事にお願いすることが提案された。

質疑応答の後、議長が採決し、提案は異議なく承認された。

(12) 普及委員の選任について
寺本普及委員長から配布資料に基づき説明があり、JHA 普及委員会の委員及び各ブロックと都道府県の普及委員の承認を求めた。

質疑応答の後、議長が採決し、提案は異議なく承認された。

(13) 東京 2020 テストイベントにおける夕食会の開催について
安西強化本部長から配布資料に基づき説明された。

質疑応答の後、議長が採決し、提案は異議なく承認された。

(14) 2019 ホッケー・シリーズ・ファイナルについて
中村専務理事から 3 月 22 日（金）に実行委員会を開くことと、選手全員が集まるような開会式のようなものは実施しないがウェルカムディナーは実施したいと説明された。

質疑応答の後、議長が採決し、提案は異議なく承認された。

16時 中曽根議長退席。以降、内藤副会長が議長代行を務める。

3. 「報告事項」について

(1) AHF総会の報告

伊吹国際委員長から配布資料に基づき報告された。

(2) アンチ・ドーピング教育について

大久保理事から配布資料に基づき、アンチ・ドーピングの啓発教育が日本スポーツ協会のNF評価に影響するのでしっかり取り組みたいと説明された。

(3) オランダ女子代表チームの受け入れについて

安西強化本部長から受入会場を公募したが応募がなく、山梨県と打ち合わせしている、と説明された。

(4) 2019年度第80回全日本女子ホッケー選手権大会主管について

平尾理事から岡山で開催することが決まったと説明された。

(5) 新ロゴマークの運用について

欠席の宮野広報委員長に代わって坂本事務局長から配布資料に基づき説明された。

中村専務理事から、5月に協会事務所が新会館へ移転するのでそれに合わせて運用開始することが無駄を生じない、という意見が出された。

(6) 日本スポーツフェアネス推進機構 (J-Fairness) の設立と負担金の支払いについて

坂本事務局長から配布資料に基づき説明された。

- ・アンチ・ドーピングの検査は今まで通りJADAが行うが検査費用のやり取りや日程調整はJ-Fairnessと行うようになる。

(7) U12ドリームキャンプについて

瀧上専務理事から配布資料に基づき説明された。

(8) FIH Series Final (Hockey Series Final から改称) の準備状況について

(審議事項(14)の審議時に説明済み)

- (9) 2019年チャレンジマッチの準備状況について
坂本事務局長から3月17日(日)に開催することが説明された。
- (10) Instagram社との取り組みについて
坂本事務局長から配布資料に基づき説明された。
- (11) 新会館の住所および事務局移転について
坂本事務局長から配布資料に基づき説明された。
- (12) JOC国際人養成講座への派遣について
坂本事務局長から配布資料に基づき説明された。
- (13) 登録者数の推移について
大久保理事から配布資料に基づき説明された。
- (14) ユニバス設立について
寺本常務理事から「大学スポーツ協会」略称「UNIVAS(ユニバス)」が
設立されたこと及び、日学連が参加したことが報告された。

以上をもって全ての議事の審議を終了し、議長は午後5時15分閉会を宣した。